

# 広報誌

Vol.2

2013/2/2



2012/11/23-25  
第三回東北支援プロジェクト  
5P-16P



2012/12/8  
3クラブ合同クリスマス例会  
16P



2013/1/19  
東京八王子 RAC ふれあいコンサート  
16P



2012/12/2  
中央大学 RAC チャリティーバザー

2012-2013 年度国際ロータリー 第 2750 地区ローターマクト

2750 地区ホームページ <http://www.ri2750rac.org>

2750 地区 Facebook ページ <http://www.facebook.com/ri2750rac>

「2750RAC」で検索!

## 目次

1. 第二回会長幹事会報告 .....	3
2. 第三回東北支援プロジェクト報告 .....	5
3. 地区活動報告 .....	17
4. お知らせ .....	19

今年度広報誌並びに昨年度広報誌のPDF版を地区ホームページにて公開しています。  
そちらもぜひご覧になってください。

2750地区ホームページ <http://www.ri2750rac.org>

# 1. 第二回会長幹事会報告

## 第二回会長幹事会報告

日時：2012年10月13日（土）

会長幹事会：13時15分受付登録開始／13時30分開会点鐘／16時40分閉会

場所：むさし府中商工会議所

出席クラブ：東京府中 RAC、東京西 RAC、東京銀座 R A C、東京日野 RAC、東京品川 RAC、東京品川中央 RAC、  
東京八王子 RAC、東京昭島 RAC、渋谷・青山学院 RAC、中央大学 RAC  
欠席クラブ：東京田園調布 RAC、東京日本橋 RAC

～式次第～

- |                                |               |        |
|--------------------------------|---------------|--------|
| 1. 開会宣言および点鐘                   | 地区ローターアクト代表   | 田中 智   |
| 2. ローターアクトソング斉唱                | ソングリーダー       | 岩村 滯   |
| 3. ゲスト紹介                       | 地区ローターアクト代表   | 田中 智   |
| 4. 地区ローターアクト代表挨拶               | 地区ローターアクト代表   | 田中 智   |
| 5. 2011-12 年度決算報告              | 地区ローターアクト直前代表 | 古屋 貴司  |
| 6. 地区活動報告                      |               |        |
| 第一号広報                          | 地区広報          | 早川 佳男  |
| 年次大会実行委員会進捗                    | 年次大会実行委員長     | 石黒 貴也  |
| アクトの日                          | 東分区代理         | 宮川 翼   |
| 第1四半期会計報告                      | 地区会計          | 山崎 紀之  |
| 7. 東北支援について                    |               |        |
|                                | 休憩            |        |
| 8. メインプログラム「今後の会長幹事会を有意義にするには」 |               |        |
| 9. 2013-2014 地区 R A 代表選挙       | 選挙管理委員長       | 古屋 貴司  |
| 10. 各クラブからの連絡事項                |               |        |
| 11. ご講評                        | 地区ローターアクト委員長  | 山下 雅弘様 |
| 12. 閉会宣言および点鐘                  | 地区ローターアクト代表   | 田中 智   |



～内容～

5. 2011-12 年度決算報告

2011-2012 年度決算が承認されました。

8. メインプログラム「今後の会長幹事会を有意義にするには」

背景：会長幹事会は報告事項を中心に行ってききましたが、前年度のアンケートにおいて、「会長幹事で意見交換の場を作ってほしい」「会長幹事分科会を行ってほしい」という意見もあり、会長幹事会の形式に関して改めて話し合う必要性が感じられました。

目的：会長幹事会に参加する目的を共有する

今後の会長幹事会の方向性を決め、有意義なものとする

発表：

【1班】会長幹事会には義務出席、意見を言いにくいというイメージが強いです。各クラブの問題を吸い上げ皆で考えることや、来た人が成長できるようなこと、親睦を兼ねたことをやってほしいと思います。会長幹事会（報告事項）と、プログラム（一般会員も参加できるようにする）の二部構成はどうでしょうか。



【2班】まず、会長幹事会の目的を皆で共有することが必要です。親睦を深めるためのチーム制の活動、次年度地区代表の理想像を話し合うプログラムがいいのではないのでしょうか。



【3班】直接コミュニケーションを取れる場です。もっとアットホームに行うためにお土産担当のクラブを作り、お菓子を食べながら行うのはどうでしょうか。各クラブの近況報告を行い、他のクラブのことを知ることで、自クラブに還元したいです。



【4班】地区のことをもっと一般会員にも知ってもらうため、会長幹事会を二部構成にし、一般会員も参加しやすくしたいです。職業など、自分の詳しいことに関して発表し合い、専門知識と親睦を図るのはどうでしょうか。



まとめ：今までは、地区活動の報告事項、決議事項、地区からの問題提起という地区からの発信が多かったです。会長幹事会という名の通り、会長幹事が発信できるプログラムを今後作りたいです。地区からの報告・決議の他に、会長幹事の問題を共有し、共に解決することや、クラブの良いところを吸収するなど、お互いが良き相談者で良きライバルとなれる環境作りが必要だと感じました。これにより魅力的な 2750 地区の形成にもつながるのではないのでしょうか。今後の会長幹事会では、このようなことをめざしたいと思います。

11. ご講評（山下雅弘 RA 委員長）

皆さんは、目標を決めて例会や活動を行っていると思います。時には誘惑があったり失敗もあったでしょう。自分の中でキャラを決め、行動を決めていくことで一本筋の通った活動ができるでしょう。



## 2. 第三回東北支援プロジェクト報告

### 活動概要

日時：2012年11月23～25日（3日間）

場所：石巻市、東松島市、南三陸町等

参加者：ロータリークラブ 1名、ローターアクトクラブ 23名

支援RC： 東京中央ロータリークラブ（大型バス1台）

東京田園調布ロータリークラブ（昔遊び備品一式）

東京日野ロータリークラブ（ラーメン器・割り箸400セット）

### 活動目的

- ① ローターアクター・ビジターの被災地への関心を高め、継続的な被災者との交流のきっかけづくりをおこなう。
- ② 仮設住宅の高齢者と子ども達をつなぐイベントによりコミュニティづくりのきっかけを生む。

### 活動内容

#### ▶ 食興祭でのラーメン販売「八王子ラーメン vs 喜多方ラーメン」

食興祭にて、「八王子ラーメン vs 喜多方ラーメン」という企画でラーメンの販売をさせていただきました。

食興祭では開催前からローターアクトが企画する「八王子ラーメン vs 喜多方ラーメン」をイベントの目玉として大々的に取り上げて頂き、ポスターや現地新聞などでの告知をおこなっていただきました。

**八王子ラーメンvs喜多方ラーメン**  
果たして、どちらのラーメンが美味しいのか?(企画・販売: RAC)

食興祭の会場となる石巻市河北総合センター（通称：ビッグバン）に到着すると、食興祭をご紹介頂いた遠藤副委員長をはじめ、主催の「百笑一喜復興プロジェクトみやぎ」の鈴木 貴郎代表など、現地で活動している方々と打合せを行いました。

鈴木代表は、「食興祭を通して、石巻の復興はもちろん、多くの方とのつながりをつくり地域を活性化させたい」と挨拶し、ローターアクトとのつながりを大切にしたいとも話してくれました。

食興祭には、前向きに復興をしようという現地の飲食店や農協など14店が出店し、避難生活中の方を含め、地元の方が数多く来場していました。参加者からも出店者からも地元を活性化したいという想いを強く感じられました。

ラーメン作りでは、八王子ラーメン（細麺で刻みタマネギ入り）を作る班と喜多方ラーメン（太麺で焼豚と海苔入り）を作る組に分かれ、それぞれの売上を競いました（1食300円）。寒さと風のために、ラーメンを茹でるための湯がなかなか沸騰しなかったため、販売開始が遅れ、販売中もお客さんを待たせてしまう場面があり、クレームも受けてしまいました。困難な状況でしたが、湯の量を減らす、風除けをするなどの工夫をして、なんとか満足のいくラーメンを提供することができました。困ったときには傍観せず積極的に行動することと、一人ひとりがしっかり役割を果たすことで、トラブルを乗り切れました。寒空の下、温かいラーメンは大変好評で、八王子ラーメン、喜多方ラーメンともに完売となりました。ラーメンを待っている方との会話などで現地の方と交流し、震災や復興に関してのさまざまなお話を聞くことができました。ローターアクトのラーメン販売については、地元紙「石巻かほく新聞」にも記事が掲載されました。



5



ラーメンブースの隣では、子どもからご年配の方まで楽しめる「昔遊び」ブースを設置し、会場の皆さんと交流をおこないました。（「昔遊び」は毎年、東京田園調布ローターアクトクラブが提唱ロータークラブと一緒にこなっている企画です。）

ローターアクトでは、現地の方同士もしくはローターアクターとの交流を持っていただきたいという思いからこのブースを設けました。

見慣れない遊具に興味を持って遊びに来てくれる子どもたちや、懐かしいと足を止めて一緒に子どもに遊び方を教えてくれる方もいました。昔遊びを通して、現地の多くの方とローターアクターが交流しました。



また、ローターアクターや現地の方々が交流をするのみではなく、世代ごとにさまざまな人と交流するとシールが配られ、そのシールを集めると景品がもらえるというゲームをおこないました。



食興祭では、石巻市内の飲食店をはじめ、高校生や NPO などの出店もありました。中央のステージではフラダンスやバンド演奏などをおこないイベントを盛り上げていました。

これまで地元団体と一緒に活動をおこなうことはありませんでしたが、今回の食興祭で様々な方とのつながりを持ったことはローターアクトの今後の東北支援活動にとっても大きなステップとなりました。

「支援に行った側が元気をもらった」という記事をよく目にしますが、まさにその通りで、今回の活動は石巻を元気にしようという地元の方々との交流ができたことでローターアクトが元気をもらった活動でした。



➤ 石巻・南三陸地域への訪問

石巻・南三陸地域を訪問

現地での JA 石巻青年部委員長 高瀬卓弥様に語り部をしていただき、石巻～南三陸地域を訪問しました。高瀬様には震災当時の状況からこれまでの復興の道のりについてお話しいただきました。



高瀬様は、「施しを受ける時期はもう終わり、今後は石巻市内外で経済的な活動をおこなっていくことが復興への近道だ」と話しており、ローターアクトへのメッセージとして「皆さんのように被災地に関心を持ってもらえることは大変嬉しい。これからも本気で被災地を考えてくれる方が必要」と話していました。

歌津てんぐのヤマ学校を訪問

宮城県南三陸町 旧歌津町地区の棚田跡を整備して作った「さえずりの谷」住人の蜘蛛瀧 仙人(八幡 あきひこ)様より活動内容についてお話しいただきました。



蜘蛛瀧様は津波で街並みと浜の遊び場を失った被災児童たちのために、自然豊かな遊び場を設け、手作りの子ども祭り復活や、里山の伝統遊び・ものづくりの復興にとりくむ活動をおこなっており、自然を活かした遊びを子どもたちには知ってほしいと話していました。また、巨大津波から街を守るための防波堤をつくる話が進んでいますが、子供たちと海を切り離してしまうことになるなどの代償に関してもお話ししており、予防策に関しての問題提起をいただくことができました。

石巻まちなか復興マルシェを訪問

被災した石ノ森萬画館そばにある仮設商店街「石巻まちなか復興マルシェ」を訪問し、木村 均様に商店街の設立経緯や今後の展望についてお話しいただきました。



木村様は、行政が関わるこれからの区画整備計画等の説明を交えながら、江戸時代から続く石巻市の商圏発祥の地にある「石巻まちなか復興マルシェ」を県内随一の観光スポットとするべく今後の展望を語っていただきました。



## 登録者一覧

No	クラブ	名前	なまえ
1	東京中央ロータリークラブ	八幡 恵介様	やわた けいすけ
2	地区代表 (所属:中央大学ローターアクトクラブ)	田中 智	たなか さとし
3	地区幹事 (所属:渋谷・青山学院ローターアクトクラブ)	山田 智咲	やまだ ちさき
4	地区会計 (所属:東京銀座ローターアクトクラブ)	山崎 紀之	やまざき のりゆき
5	年次大会実行委員長 (所属:中央大学ローターアクトクラブ)	石黒 貴也	いしぐろ たかや
6	地区広報 (所属:東京府中ローターアクトクラブ)	早川 佳男	はやかわ よしお
7	東京日野ローターアクトクラブ	田嶋 涼一	たじま りょういち
8	東京銀座ローターアクトクラブ	小川 雪乃	おがわ ゆきの
9	東京八王子ローターアクトクラブ	野上 秀之	のがみ ひでゆき
10	東京八王子ローターアクトクラブ	西本 梓二	にしもと しんじ
11	東京八王子ローターアクトクラブ	大河原 大輔	おおかわら だいすけ
12	東京田園調布ローターアクトクラブ	星雄 士郎	ほし ゆうしろう
13	東京田園調布ローターアクトクラブ	星 絵里子	ほし えりこ
14	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	土井 良介	どい りょうすけ
15	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	鈴木 美穂	すずき みほ
16	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	棚岡 璃紗	たなおか りさ
17	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	渡部 智也	わたなべ ともや
18	中央大学ローターアクトクラブ	小室 稔典	おむろ としのり
19	中央大学ローターアクトクラブ	川浦 千晶	かわうら ちあき
20	中央大学ローターアクトクラブ	平 敦公	たいら あつき
21	中央大学ローターアクトクラブ	近藤 駿一	こんどう しゅんいち
22	中央大学ローターアクトクラブ	高橋 優香	たかはし ゆか
23	中央大学ローターアクトクラブ	平松 佳央理	ひらまつ かおり
24	中央大学ローターアクトクラブ	大友 純香	おおとも すみか

参加ロータリアン 1 名

参加アクター 23 名/地区内アクター 130 名



今回の活動を通して、石巻は元気を取り戻していると多くのローターアクトーは感じました。これからは「支援」という一方的なものではなく、現地の方々と協力しておこなう活動が必要になっています。このことを踏まえ 2750 地区ローターアクトでは、今後も継続的な被災地応援活動をおこないます。第3回東北支援プロジェクトへのご支援、ご協力いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。

2750 地区ホームページにて東北支援プロジェクトの報告書を公開しています。  
そちらもぜひご覧になってください！  
<http://www.ri2750rac.org/>

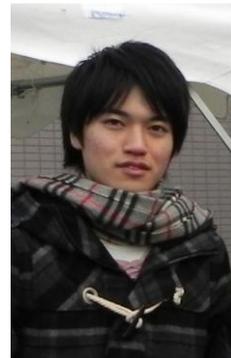


## 参加者感想文

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職	地区代表	名前	田中 智
	<p>第3回東北支援活動では、2750地区ローターアクトでこれまでにこなってきた活動が石巻の方々に認知された結果、地元事業者と協力して石巻復興の一助となる活動ができました。震災後、ローターアクトの東北支援活動は瓦礫撤去（緊急支援期）、漁業支援（生活再建期）、コミュニティづくり（復興支援期）とその時期に応じた活動をおこなってきましたが、どの活動も単発的な活動にとどまっていた。今回の活動で、特に成果があったことがこれまでの「つながり」を通して現地のニーズに沿う活動を「地元の方と一緒に」開催することができたという点です。このことによって、これからの東北支援活動を継続的なものとする足がかりを作ることができました。また、活動を通して私が感じたことは、石巻の方々は今後の外部（支援側）に求めていることは直接支援ではなく間接支援であり、実施主体は地元住民であることをとということです。現地の方は、「すでに石巻は元気を取り戻しており、今後はそれを石巻以外の多くの地域に知ってもらおう」ということを願っていました。今後もこれまでの石巻とのつながりを活かし、東京でも石巻の元気を伝えられる活動を考えていきたいと思えます。</p> <p>今回の活動では、石巻のニーズに寄り添う活動をしたいと直前の日程の変更等がありましたが、ロータークラブの皆様はじめ多くの方にご支援をいただき開催に至ることができました。地区を代表してご支援、ご協力いただいた皆様に心より深く感謝申し上げます。</p>				

所属	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	役職	地区幹事	名前	山田 智咲
	<p>今回の東北支援の目的は、被災地の方へのアウトプット、そして震災体験などをインプットすることでした。アウトプットは、現地の方から声をかけていただいた「食興祭」に、ラーメンと昔遊びをもって参加でき、当日は行列もできるなどたくさんの人に喜んでもらえたと思います。ローターアクターも様々なことに臨機応変に対応し、ラーメンを待っている人と話すなど現地での時間を最大限に生かして活動していました。また、インプットでは、夜の懇親会や被災地訪問の中でたくさんのお話を聞くことができました。テレビを通して聞くよりも実際はとても衝撃が強く、私には想像できないくらい心の傷があることがわかりました。しかし、現地の人はとても明るくて、エネルギーもすごくて、未来に向かって歩いている姿が非常に印象的でした。</p> <p>もう、「被災者」を対象としたボランティアをする必要はありません。周りがエネルギーを抑えることなく、より増強できるように、私たちも過去ではなくこれからを見据えた活動をしていくことが重要であると感じました。最後に、今回の活動を支援して下さった方々、この活動に参加していただいた皆様に対し、貴重で有意義な時間をくださったことを感謝申し上げます。</p>				

所属	東京銀座ローターアクトクラブ	役職	地区会計	名前	山崎 紀之
	<p>東北支援の目的の一つは仮設住宅におけるコミュニティの創出でしたが、仮設住宅の方々をまとめて呼ぶことができなかったため、十分に目的達成できなかったと思います。とはいえ、食興祭を盛り上げることで現地の活性化に寄与できたことは有意義でした。</p> <p>もう一つの目的は、被災地の現状を知ることでした。時間の制約、語り部の急な変更などで、予定どおりの活動にはなりませんでした。JAの高瀬さん、八幡明彦さん、復興マルシェの木村さんといった様々な立場の方のお話を聞いて、とても勉強になり、考えさせられることも多かったです。</p> <p>今回初めて運営側として参加し、大小様々なトラブルに直面し、非常に大変な思いをし、また参加してくれたメンバーにも迷惑をかけてしまいました。突発的なトラブルもありましたが、ほとんどが準備不足、地区役員間の情報共有漏れ、相互チェックの欠如に起因していました。しっかり反省して次の活動に活かしたいです。</p>				

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職	第33回年次大会実行委員長	名前	石黒 貴也
	<p>私はこの度の東北支援活動を通して、主に二つのことを感じました。</p> <p>まず、一つ目は現地のニーズが変化していることです。「復興には着々と向かっている。これからは本当の意味で復興を考えてくれる人材が欲しい」と現地の方からお話があり、今後のボランティアに求められる人材について深く考えさせられる機会となりました。今後の東北支援活動では、どういう形で現地のニーズに合わせた活動が出来るか、また私たちの力で出来ることは何かを考えていくことが課題であると感じました。そういった意味では、今回の東北支援活動のプログラムの一つでもありました「食興祭」のお手伝いは、現地のニーズに合った支援活動を行うことができたという意味で、有意義な活動であったと思います。</p> <p>そして二つ目は、改めて震災について考える機会になったことです。東北の震災を通して、学んだことはたくさんあります。もし同じようなことが東京でも起きた場合にも、その経験を生かすことが大切であり、同じことを繰り返さないように努力していかなければならないと感じました。今回の経験を通して学んだことを、今後の支援活動にも生かしていきたいと考えております。</p>				

所属	東京府中ローターアクトクラブ	役職	地区広報	名前	早川 佳男
	<p>自分は今回初の東北支援への参加で、楽しく、とてもいい経験になりました。地区広報ということで役割が写真撮影だったため当日の運営にはあまり関係ありませんでしたが、ラーメンは大盛況で、昔遊びも沢山の地元の子供達が遊びに来てくれて交流ができ、とても楽しかったです。今回参加して良かったと思っていることは被災した方の実際の経験や被災地の現状、現地で実際に活動されている方のお話を聞くことができたことです。</p> <p>初日の懇親会では JA 石巻の高石さんから被災地の現状や当時の話、これからはどんな人材が必要といった話を聞くことができました。2 日目の車中での語り部をして頂いた高瀬さんからは当時どういった物が必要だったか、常備しておくべきかといったことを学び、「親戚と 30 人位で暮らしていた」とか「配送できなくなった食料を分け合った」などの話にあらためて地域の繋がりの重要さを感じました。</p> <p>また「避難生活は自宅と避難所どちらがいいのか」といった貴重な話を聞くことができ、自分も自宅に常備してあるものをチェックして今後の万が一に備えて行きたいと思いました。今後の東北でのボランティアのあり方を考えるきっかけにもなりました。</p>				

所属	東京日野ローターアクトクラブ	役職	会長	名前	田嶋 諒一
	<p>今回が初の東北訪問でした。震災から 1 年半が経過しましたが、南三陸町の海岸地帯にはまだまだ震災瓦礫が残り、廃車になった自動車が並べられていました。被災した建物が片付けられ、家屋の基礎部分だけが延々と続き、そこに重機とわずかばかり鉄骨の骨組みだけが佇む光景から、津波の恐ろしさをひしひしと感じました。バス内での高瀬さんのお話では、「震災発生直後にどのように周囲の人々と助けあって難局を乗り越えたか」というお話が特に印象的でした。インフラが壊滅状態になった中、若者が中心となり積極的に行動した部分からは、私達ローターアクトの学ぶところが多いと感じました。また、「親戚や地域の人々との信頼関係を構築しておくことが大切だ」と考えるようになりました。個人で物資を備蓄するには限界があるが、「助け合いの輪」はその気になればいくらでも広げておくことができ、いざ何か起きたときはそれこそが生きてくるのではないのでしょうか。</p> <p>また今回の訪問で驚いたことは、石巻の人々がとても前向きだったことです。JA 青年部の方々の「地元で活気を取り戻したい」という熱意には圧倒されるものがありました。「支援」というスタンスではなく、これからは東京と石巻の若い力を結集し、「協力」して東北の発展を考えていくべきだと感じています。</p>				

所属	東京銀座ローターアクトクラブ	役職	直前会長	名前	小川 雪乃
	<p>第一回に続いて、今回で 2 回目の参加です。ちょうど 1 年前の 11 月には沿岸部のがれきは既にまとめてありましたが、その時に残されたがれきもなくなり更地になっていました。建築制限などもあってそのように手を付けられない土地がある一方、あちらこちらに商店街の立て札があり、この土地で生きている方々の生命の強さを感じました。</p> <p>現地の JA 青年部に協力する形で食興祭に出店できたことは、現地のニーズに合わせた活動ができたという意味でたいへん有意義でした。トラブルもありましたが、「今後何をすべきか」「何ができるのか」を考える良い経験となりました。お酒を酌みかわしながら伺った青年部の方の「石巻に来て、石巻で作ったものを買って、地元にお金を落としてくれるのが一番うれしい」という言葉は非常に印象的でした。若く、「これからもう一度もりあげよう！」と前向きで、なんだか嬉しい気持ちでした。</p> <p>被災した方々にもいろんな方がいて、それぞれの考え方で生きています。震災から 1 年半以上が経過した今、私たちの安易な「やってあげよう」という考えはもはや通用しない段階だと感じました。「被災地の方々と対等な関係を築きながら、できることをしていきたい」と想いを新たにしました。</p>				

所属	東京田園調布ローターアクトクラブ	役職	会長	名前	星 雄士郎
	<p>実際の現場を見て、鳥肌が立ちました。崩れた建物を見て、ただ圧倒されました。「支援してくれた皆さんありがとう」という看板があり、涙が出そうになりました。実際に現地に行き、言葉では表せない何かを体感することができました。できるだけ多くの人に実際の現場の雰囲気を感じてもらいたいです。</p> <p>被災された方との対話では、実際に今何が必要で、どうしていきたいのかを聞くことができました。現地の方が「もう施しはいらぬ」「自分達でやっていきたい」と言っていて、被災地が次に進もうと変わってきているのを知りました。被災された方の全員がそうではないと思いますが、前に進もうとしている人がいることも事実でした。「ただ与えて終わり」というだけの支援でなく、「共に歩むという姿勢になって実際に行動を起こすこと」が、今求められている支援だと思いました。</p> <p>一つ残念なのは、昔遊びで「コミュニティづくり」という目的を果たせたのか疑問が残ったことです。もっと「住民へのアプローチ」に力を入れると良くなるのではないかと思います。</p> <p>次回の東北支援では今回の経験を活かし、非力ながらも被災地の活性化に貢献していければと思います。ありがとうございました。</p>				

所属	東京田園調布ローターアクトクラブ	役職		名前	星 絵里子
	<p>この度、初めて東北支援に参加いたしました。</p> <p>実際に現地へ足を運んだ結果、見聞きしていた様子と現状には多少なりとも差異があるということを感じました。また、現地の方の熱く力強いパワーあるお言葉から、現地のニーズの変化をお聞きできたことは今回、最も大きな収穫になったと思っております。</p> <p>被災した現場がそのままになっているところも多く残る一方、道路をはじめインフラ関連の復旧は想像以上の整いようございました。更に、現地の方の熱く力強いパワーあるお言葉をお聞きし、今現在、必要としていることは東北の経済活動を支えること、これは東京を拠点にしながらもできることとございました。東北のものを消費する他、市場を広げていくことなどと方法は多岐にわたります。今後の地区の活動や各々のクラブの活動にも浸透させていけるものであると考えられます。</p> <p>現地の方の熱い気持ちというのを目の当たりにし、帰りの車中で東北支援の今後の活動についての意見交換も中身の濃いものになっていたことは皆感じたことと思います。今回の東北にて感じた本気の熱い思いというものをいつまでも忘れず、その思いを今後の活動に注いでいきたいと思っております。</p>				

所属	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	役職	幹事	名前	土井 良介
	<p>私は今回より以前に三度東北支援・被災地に対するボランティアに参加しましたが、今までの支援活動と今回の支援活動の最も大きな違いは「被災者の方との距離」です。今までのいわゆるボランティア活動では、どちらかと言えばただボランティアするだけ、例えるならば店員と客の関係に近いものでしたが、今回は違っていました。その違いがどこで生まれたかと言えば、本当に相手の事を思っている活動であったことにあります。その結果、店員と客の関係ではなく、友人関係のような感情がわき、被災者の方々の生の声が自分の心にこれまでにないインパクトを残しました。このことは今回の東北支援において確かな成功です。</p> <p>一方で、細かいところでは失敗や今後の課題点も多々あったと思います。特にラーメンの出来については良くなかったため、今後このような模擬店を出す機会があった時に改善すべき点です。また、今後の課題として、現地のニーズにより正確に答えることが求められると思います。JAの方々が頻りに仰っていたことですが、「自立した経済活動をしたい」という思いに対して何か支援ができれば良いと思います。</p>				

所属	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	役職	会計	名前	鈴木 美穂
	<p>東北支援には前年に引き続き2回目の参加となりました。私は今回の東北支援は、ボランティアをして来たと言うよりは多くの物を得ることのできた活動だったと思っています。</p> <p>11月の東北は室外に立っているだけでも凍えるほどの寒さを感じました。しかし、雪が舞う震災直後に十分な暖房器具や防寒具もない中で不安な避難生活を送っていた地元の方々を考えると、自分がいかに甘えた考えをしているのか指摘されたような気がしました。また、ラーメンを買ってくださった方々や宿泊先を提供してくださった方々など地元の方々とお話をする機会では、温かなお言葉に元気をもらい、そして地元の方のリアルな飾りのない意見を聞くことが出来ました。深刻なお話の時には、どのような言葉を返せばいいのか気の利いた言葉を言えない自分にもどかしさを感じました。しかし、震災を体験したからこそそのお話はとて心響くもので、このお話を聞いたことが今回の活動の一番の収穫となりました。昨年と比べ、いまだ瓦礫は残りますが復興が目に見えて進んで来ています。活動中にも地震が起こるなど不安はありますが、地元の暖かい方々と共に今後も東北の復興に携わっていきたいと思います。</p>				

所属	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	役職		名前	棚岡 璃紗
	<p>今回初めて東北支援に参加させていただきました。震災以降、東北に訪れるのも初めてでした。2011年の3月11日、テレビを通して見た光景は本当に衝撃的なものでした。あれほどの悲劇から立ち直れるのだろうか、私は悲しみに沈む被災地を想像していました。しかし実際に被災地に足を踏み入れて私が見たものは、現地の方々が気丈に前を向いて生活する姿です。その強さを目の当たりにして言葉もありませんでした。励ましに行こうなどと簡単に考えていた自分の浅はかさを感じます。</p> <p>当たり前だった日常を完全に取り戻すには長い長い時間がかかるかもしれません。その道程で被災された方々の気持ちに少しでも寄り添いながら、復興へのお手伝いができると思います。現地の方々のあたたかい笑顔が見ることができて本当に嬉しかったです。ありがとうございます。</p>				

所属	渋谷・青山学院ローターアクトクラブ	役職		名前	渡部 智也
	<p>今回の東北支援は私にとって貴重な体験です。</p> <p>当時、連日震災についてのニュースが飛び交っていたことはよく覚えています。自分は受験生で支援に行きませんでした、きっと邪魔になるだけだと思ったからです。</p> <p>支援初日、石巻市の「食興祭」に参加し、その後の懇親会では石巻市の方から直接対談でお話を伺いました。その方はこう仰います、「『今』、石巻に必要なのはお金でも救援物資でもない、『人材』だ。本気で石巻市の復興に尽力できるリーダーだ。」この言葉は、意外とともに納得でした。私は未だに物資が必要だと思っていました。確かに物やお金はもう要らないかもしれませんが、必要なのは物資に依存することではなく石巻市の「経済的自立」でした。石巻市は復興に向けて進んでいます、しかし自分の意識は震災当時で止まっていたのです。「食興祭」に私たちが呼ばれたのは、復興しつつある石巻を知ってもらうためだと思いました。翌日、別の方のお話でも、「自分たちが石巻を復興するのだ」という強い意志が感じられました。私は「支援」の意味をはき違えていたのかもしれません。</p> <p>「今」の東北に私ができるのは何か。考えさせられました。</p>				

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職	会計	名前	川浦 千晶
	<p>今回の活動は、現地の方と同じ目線で石巻の食興祭を盛り上げられただけでなく、2750地区のローターアクトで協力してイベントに出店するという事で、地区のローターアクト同士の距離も縮まり、とても良かったです。イベントの最中やイベント後の懇親会において、現地の方々と交流できたことも良い経験でした。南三陸を訪れた際に、語り部をしてくださった高瀬さんが「このような景色を見ると震災を思い出してしまうので自分からは訪れる気になれない。」とおっしゃっていたことがとても心に残りました。残念なことですが、被災していない側の人はどれほど同情しようとしても、被災した方の気持ちは完全には理解できないものだと思います。だからこそ、これからも被災された方のお話をなるべく多く聞き、ローターアクトとして現地のニーズに合う活動をしたり、自分自身の防災意識を高めるのに活かしていきたいと思いました。私は今回被災地を訪れるのは初めてではなかったものの、何度訪れてもやはりテレビの画面を通して見る景色とは衝撃の度合いが違います。テレビで見て分かった気になっていても、現地を訪れてみて学ぶことはたくさんあります。ですので、自分たちの世代が東日本を復興させていくためにも、なるべく多くの同年代の人に実際に被災地を自分の目で見てほしいと思います。</p>				

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職	名前	平 敦公
	<p>私は東北支援に参加して自然災害の恐ろしさ、人間の力強さを感じました。バスから石巻の津波に流された場所を見て、日常生活ではびくともしないコンクリートが、津波によってボロボロに壊されていた光景を忘れることができません。テレビで見るよりもずっとひどかったです。そのときは「自然災害の恐ろしさを忘れないためにもこの光景は残さなければいけない」と思いましたが、JAの高瀬さんの話を聞き、「遺族の人々の気持ちを考えたら取り壊すべきなのかな」とも思いました。物資の不足などの目に見える問題から、人の気持ちに関するいろいろな問題に東北は直面しているのだなど、思いました。</p> <p>食興祭では人間の力強さを感じました。JAの人々が何とかして自分たちの故郷を復興させようという気持ちが伝わってきました。たくさんの東北の人々の笑顔が見られてよかったです。また、自分自身に対して、今の恵まれた現状でぼーっとしていいのか？自分は JA の人の様に何か目標を持って生きているのか？など、疑問も生まれました。東北では自分自身の今のあり方について考えさせられ、東京にいたら気づけなかっただろうことに気づけました。あらためて東北支援に行けてよかったです。このような機会を作ってくれた実行委員のみなさまありがとうございます。そして、お疲れ様でした。</p>			

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職	名前	大友 純香
	<p>今回の東北支援プロジェクトに参加させて頂き、現地の方々と直接お話しして私が感じたことは、「もう前を向いているな」ということです。特に懇親会では、一人ひとり震災時の辛い記憶を抱えながらも、確実に復興に向けて自らアクションを起こそうという JA の方々の強い意思を感じることができました。お酒を交えて本音を語り合えたこの機会は、私たちアクトと被災地の方の双方にとって有意義であったと思います。 また私事ですが、実家が仙台のため、2日目のプログラム終了後に東京に戻らずそのまま帰省しました。その際、石巻駅と仙台駅を結ぶ仙石線という JR 線が未だに不通となっているため、バスを利用したところ、道路が混雑していたこともあり2時間半ほどかかりました。仙石線が完全に復旧すれば、1時間ほどでアクセスできるということです。まもなく震災から2年が経ちますが、まだまだ物理的な復旧作業は終わっていないなど思いました。</p> <p>三年計画も後半にさしかかったこの時期に、とりわけ精神面で復興の兆しをはっきりとみることができたということ、また次の段階のニーズが「経済活動」と「人材」とであると直接聞くことができた点で、今後自分たちに何ができるのかを考える指針を得られたと思います。</p>			

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職	名前	近藤 駿一
	<p>私はこれまでは、津波がどこまで来たとか、それによって何人の方が亡くなったかという話はテレビや新聞などで見聞きして知っていました。しかし、それはあくまで情報として知っているということでしかなく、実際の震災がどのようなものだったのか漠然としていてよくわかっていませんでした。</p> <p>それが今回実際に被災地を訪問させていただいて、被災当時の貴重なお話を聞かせていただくことができ、震災についてある程度は実感を持って理解することができたのではないかと思います。また、ボランティアを行うにあたってはボランティアをする側の自分たちの事情ではなく、される側の気持ちを理解することが大切だと思うので、今回の活動の中で高瀬さんをはじめとする石巻の被災者の方々のお話を聞いて被災者の側の気持ちを知ることができたことは、これから先、どのような被災地復興の活動を行っていくかはわかりませんが、次につながるものになったのではないかと思います。</p> <p>またそれとは別に、中大 RAC はメンバーのほとんどが大学生のクラブなので、今まで学生気分で活動していた部分もありましたが、半分は社会人のアクトが参加されている中での活動ということで、そういった面でもとても良い刺激になったと思いました。</p>			

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職		名前	小室 稔典
	<p>今回の東北支援活動は前回の風揚げ支援に引き続き、自身2度目の東北支援となりましたが、前回よりも多くの現地の方々と交流することができ、とても充実したものとなりました。</p> <p>1日目の食興祭で、私は昔遊び班として活動しましたが、準備している段階では想像できないほどの子供達が来てくれて大盛況だったこと、そして多くの笑顔を見られたことが何よりも収穫でした。</p> <p>また、現地の方々と交えての懇親会では、JAの方から今後の支援活動をしていくにあたって非常にためになる話を伺うことができたので、自クラブに持ち帰って共有したいと思います。</p> <p>2日目の被災地訪問は急ぎ足になったこともあり、前回よりも津波の被害を受けた場所を訪問する時間が少なかったのが少し残念でしたが、語り部の方から被災した時の状況を詳細に伺うことができたので防災意識を高めることができ良かったです。</p> <p>最後に、この活動を通して交流を深めた被災地の方々と今後もコンタクトを取りながら被災地のニーズを把握し、被災地の方々に笑顔になっていただけるような支援を継続的に行っていきます。</p>				

所属	中央大学ローターアクトクラブ	役職		名前	平松 佳央理
	<p>今回の東北支援に参加して、私は、今まで震災について、メディアを通して感じたことよりも、多くのことを感じました。一番印象に残っている話が二つあります。</p> <p>一つは、物資よりも何よりも欲しいものは人材、ということです。震災から一年と八ヶ月が過ぎ、被災地の復興状況についての報道が少なくなり、東北支援に行く人々が少なくなってきている今、何よりも人材、特に私たちのような若い力が必要なのではないか、と感じました。もう一つは、「視察」という言葉がもつ意味についてです。今までは、何も考えずに、「視察に行く」などと使ったりしていましたが、単語一つを使うにあたって、自分が無意識のうちに上から目線の言葉を使っていないか、と考えるきっかけになりました。</p> <p>東北に行くこと自体が、今回初めてのことでした。寒さが厳しく、辛い時間もありましたが、過ごしたほとんど全ての時間が有意義なものでした。東北は、誰でも簡単に行ける場所ではありませんが、実際に被災地に行ってみる、ということの大切さを、周囲の人に伝えていきたいです。</p>				

### 3. 地区活動報告



2012/9/22  
東京品川 RAC  
清掃 & BBQ

2012/11/4  
東京銀座 RAC  
中央区まるごとミュージアム  
「ひま?ならヒマラヤ!」



2012/11/17  
東京八王子 RAC  
いちよう祭りチャリティバザー



2012/12/2  
中央大学 RAC  
チャリティバザー



12/8  
3クラブ合同  
クリスマス例会  
東京銀座 RAC、品川中央 RAC、中央大学 RAC  
合同のクリスマス例会が行われました。  
ローターアクトだけでなく、RYLArian  
などのビジターも参加し、アクトの紹介、  
プレゼント交換も行われとても楽しいク  
ルージングパーティでした！



1/19  
東京八王子 RAC  
ふれあいコンサート  
ふれあいコンサートは八王子ローター  
アクトの提唱である八王子北ロータリ  
ークラブの行事の1つで、準備や司会  
などのお手伝いを八王子 RAC のアクタ  
ーが行っています。今年も座席がほぼ  
満員で大変盛況でした！



## 4. お知らせ

### <お知らせ> 第33回地区年次大会について

#### ■趣旨

社会奉仕プロジェクトを通じてアイデアを分かち合い、そして地域内の親睦を深めることができるような年次大会の開催を目指しています。また、今年度を締めくくるのに、ふさわしいプログラムを企画しています。

#### ①クラブ発表

今年度各クラブが取り組んできた活動について発表をしていただき、各クラブの「色」を存分に出していただきたいと思えます。

そして、来場者の方々に審査をしていただき、それを基に表彰を行います。

#### ②地域への奉仕の足跡～東北への貢献～

今年度の当地区は、「地域に奉仕の輪を広げよう」というテーマのもと、様々な活動を行ってきました。中でも東北支援活動は特にそのターゲットに即した活動といえます。年度の集大成となる年次大会という場で、今年度の「奉仕の足跡」、「東北への貢献」をまとめることで、今年度を締めくくりたいと考えています。具体的には、東北支援活動を通して得た現地のニーズや情報を活動報告という形で共有します。そして、パネルディスカッションを通して今後の課題を考えていきます。

#### ■会場・日程案内

### 開催日：2013年5月25日（土）

開催会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

式典：カルチャー棟 小ホール

懇親会：国際交流棟 レセプションホール

住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号



交通情報 ◇小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

◇地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分（代々木公園方面出口）

◇京王バス 新宿駅西口（16番）より

渋谷駅西口（14番）より <代々木5丁目下車>

